

レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成22年2月19日	使用開始日	平成22年4月1日
登録診療科	血液内科	申請医師	松永 一美
レジメン名	ABVd(少量)(アブレピタントカプセル)		
疾患名	ホジキンリンパ腫	適応の備考	
適応分類	寛解導入療法		
1コース日数	28	日間	総コース数
			8
			コース
			催吐性リスク
			高度
抗がん剤投与量・投与日	ドキシソルピシン25mg/m <sup>2</sup> 、プレオ9mg/m <sup>2</sup> 、エクザール6mg/m <sup>2</sup> 、ダカルバジン250mg/m <sup>2</sup> 各day1,15		
治療スケジュール・投与日程（投与日は●）	(day)		

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28		
1	主ルート	アロキシ注ハック0.75mg	1 本 / body		●															●														
	点滴静注	デキサート注6.6mg	1 本 / body	30 分	●															●														
		デキサート注1.65mg	2 本 / body			●															●													
2	主ルート	生食100mL	1 本 / body		●															●														
	点滴静注	ドキシソルピシン注	25 mg / m <sup>2</sup>	30 分	●															●														
総投与量は500mg/m <sup>2</sup> まで																																		
3	主ルート	生食100mL	1 本 / body		●															●														
	点滴静注	プレオ注	9 mg / m <sup>2</sup>	30 分	●															●														
最大投与量は15mg/回まで。																																		
4	主ルート	生食100mL	1 本 / body		●															●														
	点滴静注	エクザール注	6 mg / m <sup>2</sup>	30 分	●															●														
最大投与量は10mg/回まで。																																		
5	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●															●														
	点滴静注	ダカルバジン注 注射用水100mL	250 mg / m <sup>2</sup> 1 本 / body	2 時間	●															●														
1V(100mg)あたり注射用水10mLで溶解する。希釈後は要遮光。																																		
6	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●															●														
	点滴静注																																	
7		アブレピタントカプセル	125 mg / body		●															●														
	経口投与																																	
ダカルバジンの投与1時間～1時間30分前に服用																																		
8		アブレピタントカプセル	80 mg / body			●	●														●	●												
	経口投与																																	
分1午前中に服用																																		
9																																		

【投与上の注意】

- ・アブレピタントカプセル: 各コースにおいて、投与期間は3日間を目安とする。また、成人では5日間を超えて、12歳以上の小児では3日間を超えて本剤を投与した際の有効性及び安全性は確立していない。
- ・アブレピタントカプセル: 原則としてコルチコステロイド及び5-HT3受容体拮抗型制吐剤と併用して使用すること。(day2～5,16～19にデカドロン錠8mgの投与を考慮する。Day2～5,16～19のデカドロン錠は、状況に応じて投与の可否を選択できる。経口投与が困難な場合は注射薬での投与を検討する。)
- ・アブレピタントカプセル: 抗悪性腫瘍剤の投与1時間～1時間30分前に投与し、2日目以降は午前中に投与すること。
- ・ダカルバジン: 希釈後は要遮光。